

※本プレスリリースは2025年9月に配信した資料の更新版です。

常設展「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」

Taro Okamoto : Living is Playing

2025年10月28日(火)～2026年3月29日(日)

「生きるということ自体、遊びではないか。われわれはひたすらに、生きるために生きている。」*

何事に対しても全身全霊で挑み続けた岡本太郎。絵を描くこと、彫刻を彫ること、文章を書くこと、写真を撮ること、ピアノを弾くこと、スキーやテニスに熱中すること、旅すること……。ジャンルを超えた岡本の芸術活動と生き方の根底には「遊び」の精神が息づいていました。

岡本は、20代を過ごしたパリにて世界のあらゆる文化や思想に触れ、パリ大学にてマルセル・モースのもと民族学を学んだ経験を通じて、人間の文化・生活における「遊び」について考えるようになります。例えば「まつり」を宗教や政治、芸術すべてを集約した真剣な「遊び」と捉え、旅行や遊学は「自由に動くことは遊びの最たるものの一つ」*であると述べています。



《森の捷》1950年



岡本太郎ポートレート、河童祭りにて(1982年)

岡本の言う「遊び」とは、単なる娯楽や余暇ではなく、自身の全存在を賭けて勝負するものでもありました。岡本が手がけた多くの作品にはその精神が表れていると言えます。

本展では、岡本太郎の人生と芸術における「遊び」をキーワードに、当館のコレクションから岡本太郎ファン必見の代表作を中心にをご紹介します。

*『芸術と遊び——危機の接点』『原色の呪文』(1968年、文藝春秋社)より

《開催概要》

会 期：2025年10月28日(火)～2026年3月29日(日)

会 場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

休 館 日：月曜日(2月23日を除く)、2月12日(木)、2月24日(火)

観 覧 料：10月28日(火)～1月30日(金) 常設展のみ開催 一般 500(400)円、高・大学生・65歳以上 300(240)円
1月31日(土)～3月29日(日) 企画展とのセット料金 一般 700(560)円、高・大学生・65歳以上 500(400)円
※()内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

主 催：川崎市岡本太郎美術館

同時開催企画展「第29回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」(2026年1月31日(土)～3月29日(日))

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

※本展は写真撮影可能ですが、一部撮影不可の資料がございます。

(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

展示室休室前 最後の常設展！

川崎市岡本太郎美術館は、施設・設備等改修工事のため、令和8(2026)年3月30日から令和11(2029)年3月末までの期間、館内展示室での展覧会の開催を休止する予定です。

本展が岡本太郎の代表作を一堂にご覧いただける休室前最後の機会となります。特に絵画のコレクションはしばらく見納めとなります。ぜひご鑑賞ください。

主な出品作品

岡本太郎作品：油彩、彫刻、岡本太郎撮影写真、収集品、他 約120点



《夜》1947年



《遊ぶ子》1954年



《若い時計台》1966年



《若い太陽の顔》1969年



《ノン》1970年



《水差し男爵》1977年



《夢の鳥》1977年



《縄文人》1982年

★広報用画像をお貸出しています。ご希望の媒体様は、当館広報宛にお問合せください。

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

【常設展作品入れ替えのご案内】

会期中、一部作品の入れ替えを予定しています。

- 2025年12月28日(日)まで展示
 - ・岡本太郎《敗惨の歎き》(1925年)
 - ・岡本一平《イカダ流し》制作年不詳
- 2026年1月4日(日)から閉幕まで展示
 - ・岡本太郎《春》(1947年)
 - ・岡本一平《ひな人形飾り》制作年不詳
- 2026年3月8日(日)まで展示
 - ・岡本太郎《空間》1934(1954)年
 - ・岡本太郎《傷ましき腕》1936(1949)年
 - ・岡本太郎《夜》(1947年)
- 2026年3月10日(火)から閉幕まで展示
 - ・岡本太郎《作家》1948年
 - ・岡本太郎《黒い太陽》1949年
 - ・岡本太郎《喫煙者》1951年
 - ・岡本太郎《樹人》1951年

関連イベント

●ワンポイントトーク

担当学芸員が常設展示の展示解説を行います。
みて、きいて。展覧会をいっそうお楽しみください

日 時:1月12日(月祝)、2月8日(日)、3月14日(土)
14:00～(予定)

場 所:常設展示室
料 金:観覧料のみ

ワンポイントトークの様子



●「蘇る VR 太陽の塔 Ver8」

大阪万博で岡本太郎が担当した《太陽の塔》は、彼の代表作として知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。

今回のイベントは、日本工業大学の学生が製作、再現した1970年当時の《太陽の塔》VRを専用ゴーグルの装着をして見学するものです。蘇った《太陽の塔》を体感してみませんか。

日 時:2026年2月11日(水・祝)
場 所:川崎市岡本太郎美術館 ガイダンスホール(VR体験)
対 象:13歳以上の健康状態が良好な方
協 力:日本工業大学情報メディア工学科
※当日、整理券を配布予定。最新情報はホームページをご覧ください。



●祝！TARO 生誕祭 115

2月26日は太郎さんのお誕生日。“TARO 生誕祭”としてイベントを開催します。一緒に太郎さんの115歳の誕生日を祝いましょう！

日 時:2月23日(月・祝)9:30～17:00(最終入館16:30)

○太郎で彩る

みんなで「TARO 誕生祭」を盛り上げよう！太郎グッズをつけてご来館いただいた方に、プレゼントを用意しております。

手作りのオリジナルでも、既製品の太郎Tシャツなどのアレンジも大歓迎です！

日 時:2月23日(月・祝)9:30～16:30

対 象:どなたでも

料 金:要観覧料

定 員:プレゼントがなくなり次第終了

プレゼントお渡し場所:美術館受付(入館時)

☆オリジナルTシャツを作成する方は、当館HPにある“どこでもTAROアトリエ”の「第15弾 シャツはファンタジー！」を参考にしてみてください。



PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

○ウルトラ TARO クイズ

太郎さんの作品や太郎さんの活動からのクイズに挑戦しよう！

午前は太郎クイズ初級編。午後は全ての TARO ファンに向けた太郎クイズ上級編。我こそはと思う TARO ファンの方はぜひご参加ください。

日 時：2月23日(月・祝)①10:30～ ②13:30～

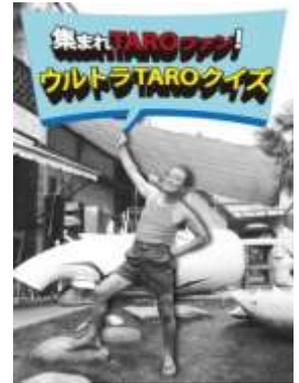
対 象：①小学生以下 ②どなたでも

定 員：各回 40 名

場 所：ガイダンスホール

料 金：無料

申 込：当日受付、先着順



○TARO 愛メッセージプロジェクト

2026年は岡本太郎の没後30年、生誕115年となる年。岡本太郎が残した多彩な芸術は、今もなお私達の心を動かしています。

太郎さんへの思いを込めた皆さんからのメッセージをたくさん集めて、TARO 愛を広げるプロジェクトに、ぜひご参加ください！

日 時：2月23日(月・祝)～3月29日(日)9:30～17:00

対 象：どなたでも

場 所：ギャラリースペース

料 金：無料



○バボット《よろこび》—岡本太郎《よろこび》より

造形家・高橋士郎による空気膜構造の動く彫刻バボット。

岡本太郎の《よろこび》のバボットが今年も太郎さんの生誕をお祝いします！

日 時：2月21日(土)～2月23日(月・祝)9:30～17:00

場 所：美術館エントランス

バボット《よろこび》過去展示の様子



○岡本太郎美術館×かわさき^{そら}宙と緑の科学館プラネタリウム特別投影

「無限に透明な世界 太郎が見た欧州航路の冬空」

“かわさき^{そら}宙と緑の科学館”のプラネタリウムとコラボレーション！1929年12月、18歳の太郎さんがパリに向かう通過地点で見た星空を体感する特別プログラムを上映します。

日 時：2月23日(月・祝) 16:30～(約45分間)

場 所：かわさき宙と緑の科学館・プラネタリウム

対象・定員：どなたでも 200名

料 金：一般400円、高・大生・65歳以上200円、中学生以下無料

※障害者手帳等をお持ちの方は無料。

※年間パスポート・各種割引はお使い頂けません。

※詳細はHPをご覧ください。

販売方法：当日(2/23)9:30から科学館窓口にて販売(先着順)

投影開始5分前または定員になり次第販売終了



パリ郊外にて 1930年

《お問い合わせ》

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：加藤、佐藤 広報担当：山内(pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枡形7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>

